

平成 31 年度（令和元年度）

歴史資料館年間報告書

Historical Museum Report



テーマ：神社

古賀市立歴史資料館

目 次

I	平成 31 年度（令和元年度）事業実績一覧	2
II	事業報告	6
	1. 自然史・歴史講座（全 6 回）	
	2. 展示	
	ミニ企画展「神々の系譜～古賀の神社に祀られる産土の神々～」	
	2019 年度国史跡船原古墳速報展「馬具のビフォー・アフター」	
	船原古墳パネル展	
	出張歴史資料館	
	3. 教育普及	
	歴史資料館れきし体験バスポート	
	子ども考古学部	
	ナイトミュージアム&ライブラリー	
	施設見学	
	実習生受入	
III	来館者数	23
IV	令和 2 年度目標及び事業計画	24

I 平成 31 年度（令和元年度）事業実績一覧

《自然史・歴史講座》

事業名・講師等	開催日	参加者数	内 容 〔開催場所〕
第 1 回自然史・歴史講座 【第 1 部：講演会・VR体験】 「船原×IT～発掘現場を共有する時代へ～」 講師：村上浩明氏 （株式会社とっぺん常務取締役） 【第 2 部：見学・VR体験】 「船原古墳をVRで体験してみよう！」 講師：文化財係長	5 月 18 日(土) 14:00～16:30	第 1 部 29 人 第 2 部 12 人	【第 1 部（一般対象）】 ・講演：最新技術を使った船原古墳の記録保存とその活用について ・VR体験：1号土坑内部探検体験 〔歴史資料館中会議室〕 【第 2 部（小野小学校 6 年生対象）】 ・見学：船原古墳（現地）、船原古墳速報展 ・VR体験 1号土坑内部探検体験 〔船原古墳→歴史資料館展示室→歴史資料館中会議室〕
第 2 回自然史・歴史講座 【現地学習】「九州大学総合研究博物館で学ぶ」 講師：岩永省三氏（博物館副館長）	6 月 29 日(土) 9:00～13:00	36 人	全国有数の所蔵品（動物、昆虫、植物、鉱物等の資料）を持つ九州大学総合研究博物館の見学 〔九州大学総合研究博物館〕
第 3 回自然史・歴史講座 【体験型学習】「夏休み子ども歴史講座 2019」	7 月 25 日(木) 7 月 26 日(金) 午前午後各 2 回	小学生 41 人 保護者 7 人 未就学 3 人 計 51 人	午前：船原古墳と出土遺物の解説・「鳳凰文心葉形杏葉」の模型作り 午後：勾玉づくり 〔歴史資料館中会議室〕
第 4 回自然史・歴史講座 【講演会】「古賀の神々～その歴史と伝承をめぐって～」 講師：須永敬氏 （九州産業大学国際文化学部日本文化学科教授）	8 月 3 日(土) 14:00～16:00	70 人	古賀の神社と糟屋地区に残る神功皇后伝説などの信仰と伝承について 〔歴史資料館中会議室〕
第 5 回自然史・歴史講座 【現地学習】「筑紫の英雄・磐井のふるさとを訪ねる」	10 月 26 日(土) 9:00～17:00	30 人	「糟屋の屯倉」の関連地といわれる鹿部田湊遺跡見学と初代の筑紫君の墓と考えられている石人山古墳、磐井の墓といわれている岩戸山古墳を見学〔八女市 他〕
第 6 回自然史・歴史講座 【現地学習】「アフガンに生きる先人の技術」	3 月 7 日(土)	新型コロナウイルス感染防止のため 来年度に延期	古賀の偉人中村哲氏がアフガニスタン用水路建設に参考にされた山田井堰見学 〔清滝仕掛け水→朝倉市〕
自然史・歴史講座 合計		228 人	

《展示》

事業名・開催場所		期 間	参加者数	内 容〔開催場所〕
ミニ企画展 「神々の系譜～古賀の神社に祀 られる産土の神々～」		7月20日(土)～ 8月31日(土)	1,382人	市内（鳥居あり）神社の所在・祭神・古 事記を中心とした神々の系譜と信仰の 変遷についてのパネル展 〔歴史資料館ギャラリー〕
2019年度国史跡船原古墳速報展 「馬具のビフォー・アフター」		4月26日(金)～ 6月26日(水)	1,801人	平成30年度までの出土品整理・調査に ついての解説と実資料の展示 〔歴史資料館〕
船原古墳 パネル展	歴史資料館内	7月4日(木)～ 2月29日(土)	—	船原古墳PRのためのパネル展示
	市役所2Fロビー	7月10日(水)～ 7月22日(月)		
	アクロス福岡「ホワ イエ」	9月23日(月)～ 9月29日(日)		
出張歴史 資料館	健康福祉まつり	10月6日(日)	アンケート 264人	・船原古墳の概要のパネル及び出土遺物 レプリカの展示、古代衣装のフォトコーナ ー〔サンコスモ古賀〕 ・船原古墳の概要及び出土遺物のパネル 展示、杏葉づくり体験〔サンリブ古賀店〕 ・船原古墳の概要のパネル及び出土遺物 レプリカの展示、古代衣装のフォトコーナ ー、狩猟体験、勾玉体験〔ニビシ醤油〕
	サンリブ古賀店	10月25日(金)～ 11月10日(日)	杏葉づくり体験 11人	
	まつり古賀	11月17日(日)	アンケート 233人 狩猟体験109人 勾玉体験 13人	
展示 合計		3,183人	※船原古墳パネル展・出張歴史資料館の来場者はカウントなし。	

《教育普及》

事業名・講師等	開催日・期間	参加者数	内 容〔開催場所〕
夏休み 歴史資料館れきし体験パスポート	7月20日(土)～ 8月25日(日)	647人	小中学生を対象とした体験型学習。古賀の郷土歴史に理解を深め、楽しく学習できるように工夫している。 (例)・歴史クイズ ・歴史すごろく ・昔の遊び 等
冬休み 歴史資料館れきし体験パスポート	12月24日(火)～ 1月13日(月)	76人	
春休み 歴史資料館れきし体験パスポート	3月24日(火)～ 4月7日(火)	新型コロナウイルス感染症防止のため中止	
歴史資料館れきし体験パスポート 合計		723人	

事業名・講師等	開催日	参加者数	内 容〔開催場所〕
第1回 子ども考古学部 「考古学とは何だろう？」	10月5日(土) 14:00～16:00	小学生 16人 大人 7人 未就学児 2人	・考古学の講義 ・疑似発掘、稲刈り体験 〔歴史資料館中会議室〕
第2回 子ども考古学部 「縄文土器を作ろう」	11月9日(土) 14:30～16:20	小学生 17人 大人 5人 未就学児 1人 視察 2人	・土器の講義 ・縄文土器作成 〔交流館工芸室〕
第3回 子ども考古学部 「古賀の遺跡を探索しよう」	12月7日(土) 14:00～16:00	小学生 15人 大人 7人 未就学児 3人	・古賀の遺跡の講義 ・市内遺跡巡り〔船原古墳 →馬渡・束ヶ浦遺跡→鹿部 田淵遺跡〕
第4回 子ども考古学部 「古代食を作ろう」	1月18日(土) 14:00～16:20	小学生 17人 大人 7人 未就学児 2人 視察 2人	・古代食についての講義 ・古代体験、古代食づくり 〔交流館調理室〕
子ども考古学部 合計		延べ 103 人 (小学生 65 人、大人 26 人、未就学児 8 人、視察 4 人)	
ナイトミュージアム&ライブラリー	2月1日(土)	50人	歴史資料館、図書館を探検

■歴史資料館利用実績一覧

事前申し込みにより、学校の施設見学・教科学習や一般団体の生涯学習で歴史資料館見学の対応。

	月	団体名	参加者数	内 容
1	5月	奈良交通株式会社	32人	船原古墳・鹿部田淵遺跡を中心に、資料館と現地を見学
2	6月	花鶴小学校6年生	122人	総合的な学習で資料館見学
3		古賀東小学校2年生	83人	資料館・図書館・交流館見学
4		古賀西小学校3年生	106人	資料館・図書館・交流館見学
5	7月	コスモス市民講座	14人	「歴史学 船原古墳と古賀の文化財」 講師：井英明文化財係長
6	9月	古賀中学校1年生	213人	資料館・図書館・交流館見学
7	10月	いとしま市民大学	40人	鹿部田淵遺跡を中心に資料館・現地を見学
8	11月	SBS学苑パルシェ校	23人	資料館見学
9		那珂川市社会福祉協議会	4日間 計 185人	資料館見学
10		花見小学校3年生	101人	社会科「古い道具と昔の暮らし」
11	12月	舞の里小学校3年生	55人	社会科「古い道具と昔の暮らし」
12		コガジョ塾	32人	資料館見学、杏葉づくり

13	1 月	小野小学校3年生	71 人	社会科「古い道具と昔の暮らし」
14	2 月	九州産業大学	20 人	資料館見学、地域博物館の実態調査
15		千鳥小学校 3 年生	57 人	社会科「古い道具と昔の暮らし」
見学者 合計			1,154 人	

■実習生受け入れ一覧

	期間	学 校 名	参加人数	内 容
1	7 月 23 日(火) ～ 25 日(木)	福岡工業大学附属城 東高等学校(2 年生)	2 人	子ども歴史講座補助、企画展業務体験、 拓本体験、船原古墳見学 等
2	8 月 23 日(金) ～9 月 3 日(火)	九州産業大学	1 人	博物館実習課程
3	9 月 12 日(木) 13 日(金)	古賀中学校(2 年生)	3 人	子ども考古学部試行体験、拓本体験、歴 史パズル作成、遺跡見学 等

《刊行物》

- ・れきしのアルバムNo.43「私年号「亀光元年」銘墓石」を作成し、ホームページに掲載した。

《所蔵資料整理業務》

- ・「小竹地区耕地図」について、後世継承のためデジタル化を行った。

《資料収集整理活動》

- ・平成 31 年度(令和元年度)の寄贈は 9 件 (全 332 点)

1	8ミリ映写機	1 点
2	スライド映写機	1 点
3	嫁入り布団	4 点
4	ものさし	4 点
5	教師用教科書 (小学校)	2 点
6	古銭・記念硬貨・貨幣・徽章	3 1 6 点
7	ミュンヘン五輪記念メダル	1 点
8	『大日本帝國軍隊』	1 点
9	ミュンヘン五輪記念メダル	2 点

- ・このほか、昔から地域で行われてきた祭や行事、産業、生活の様子、戦時中の生活、など古賀の歴史に関する事項について、その地域の高齢者などに話を聞いて、記録に残した。

II 事業報告

1. 自然史・歴史講座（全6回）

■第1回 自然史・歴史講座

【第1部】（一般対象）タイトル:「船原×IT～発掘現場を共有する時代～」

講師: 村上^{むらかみ} 浩明^{ひろあき}氏（株式会社とっぺん常務取締役 学芸員 SFX技術者）

【第2部】（小野小学校6年生）タイトル:「船原古墳をVRで体験してみよう！」

案内: 井英明文化財係長

協力: 株式会社とっぺん

開催日: 令和元年5月18日（土）

会場: 【第1部】歴史資料館中会議室

【第2部】船原古墳→船原古墳速報展
→歴史資料館中会議室

参加者数: 【第1部】29人

【第2部】12人



【第1部】

講演では、村上氏より船原古墳^{ふなぼるこふん}の調査・研究に使われている最新の技術について、作成したCGを示しながら、どのように活用されているかを紹介していただいた。文化財を記録保存し後世に残していくこと、またそれらを活用して船原古墳の素晴らしさを広げていくことが大切だということ等をお話しいただいた。

また、会場後方にVR体験コーナーを設け、船原古墳1号土坑^{どこう}の中に実際に入って歩いているような感覚を一人ずつ体験した。立体的かつリアルに物を見ることができるVRは、写真や模型からではくみ取りにくい発掘時の土坑の様子や出土品の大きさ・物の間隔等を知ることができ、参加者に大変好評だった。



【第2部】

第2部では、地元の小学生に地元の宝をもっと知ってもらうために小野小学校6年生を招待し、船原古墳の見学と船原古墳1号土坑のVR体験を行った。

船原古墳の現地を見学した後、歴史資料館で「2019年度国史跡船原古墳速報展—馬具のビフォー・アフター—」を鑑賞し、1号土坑から実際に出土した品や復元品を見て、より理解を深めた。船原古墳1号土坑のVR体験では、VRを通して楽しく学べた様子だった。田辺市長も参加、子どもたちと一緒にリアリティーな世界を楽しんでいた。

この体験を通して、子ども達の地元の文化財を大切に思う心を育むきっかけになればと考える。



■第2回 自然史・歴史講座【現地学習】

タイトル:「九州大学総合研究博物館で学ぶ」

案 内: 岩永 ^{いわなが} 省三 ^{しょうぞう} 氏 (九州大学総合研究博物館副館長)

開 催 日: 令和元年6月29日(土)

見 学 先: 九州大学総合研究博物館

参加者数: 36人(申込者39人)



全国有数の所蔵品を持つ九州大学総合研究博物館を見学した。

岩永副館長に、動物・昆虫の剥製^{はくせい}や標本、化石、鉱物・鉱石・石炭、植物資料、人骨資料など、普段は公開していない部屋も含めて各展示室を案内していただいた。各資料の解説に加え、資料が大学の授業に活かされていることや標本を収集・管理する人達の努力も知ることができた。

「壁画の会議室」では、青山熊治作の九州大学工学部壁画に描かれているものの意味なども解説していただいた。参加者は専門家ならではの詳しい解説に興味深い様子で聞き入っており、熱心に質問をしていて、歴史だけではなく自然史にも関心を持ってもらうことができた。



■第3回 自然史・歴史講座【体験型学習】（小中学生対象）

タイトル：「夏休み子ども歴史講座 2019」（全4回）

実施日：令和元年7月25日（木）・26日（金）

（午前：杏葉づくり 午後：勾玉づくり）

会場：歴史資料館中会議室

参加者数：小学生41人、保護者7人、未就学児3人

市内の子どもたちに「杏葉^{ぎょうよう}」と「勾玉^{まがたま}」づくりを通して、
地元の文化財である国史跡船原古墳や古代を身近に感じて
もらい、郷土の歴史を大切に思う心を育むために開催した。



【杏葉づくり】

歴史資料館長から、古墳や船原古墳の概要と特徴について解説した。また、船原古墳1号土坑から見つかった「鳳^{ほう}文心葉形杏葉^{おうもんしんようけいぎょうよう}」についてくわしく説明し、作成した模型の理解につなげた。

杏葉の模型をつくる体験では、シリコン製の型に水で溶かした石こうを流し入れ、模型を作った。杏葉の模型にそれぞれのイメージで着色した。子どもたちは夢中になって黙々と取り組んでいた。単色でぬった子や実物の構造を意識して多くの色を使って着色した子もいた。



【勾玉づくり】

勾玉の種類や用途について、資料館に展示しているものを例に紹介した。勾玉にいろんな種類があることを初めて知ったという子が多かった。

勾玉をつくる体験では、滑石^{かっせき}に鉛筆で形を下書きし、粗目のサンドペーパーで下書きした線まで滑石を削る作業をした。子どもには力が要り大変な作業だったが、しっかり削れていた。さらに仕上げ用の2種類のペーパーで磨き上げた後、染料を使って職員が希望の色に着色した。参加した子どもたちは、自分でつくった勾玉を首から下げ喜んでいた。



■第4回 自然史・歴史講座【講演会】

タイトル：「古賀の神々

～その歴史と伝承をめぐって～」

講師：須永 敬氏

(九州産業大学 国際文化学部 日本文化学科教授)

開催日：令和元年8月3日(土)

会場：歴史資料館中会議室

参加者数：70人



ミニ企画展とタイアップして開催した。

糟屋地区や市内の神社に残る神功皇后伝説について、小山田斎宮を中心にお話しいただき、新原や今在家がかつて香椎宮の神領と考えられていて、そのため神功皇后伝説が多いのではないかとの見解を示してくださった。白鬚信仰について、全国の白鬚神社と北部九州の白鬚信仰との違いを紹介し、薬王寺の白鬚神社の信仰の拡大に関してもお話しいただいた。

また、神仏習合について、その歴史と市内の神社、特に五所八幡宮の『大般若波羅密多經』を取り上げ、香椎宮との関係性を解説していただいた。



■第5回 自然史・歴史講座【現地学習】

タイトル：「筑紫の英雄・磐井のふるさとを訪ねる」

開催日：令和元年10月26日(土)

見学先：鹿部田淵遺跡、石人山古墳、弘化谷古墳、岩戸山古墳、岩戸山4号墳

ガイド：古賀市史跡案内ボランティア 他

参加者数：30人



古賀市史跡案内ボランティアの案内で鹿部田淵遺跡を見学し、鹿部田淵遺跡の概要とどんな施設だったと考えられるかを解説していただいた。

こふんピア広川（広川町古墳公園資料館）では、資料館と古墳を見学した。石人山古墳では、武装石人^{せきじん}と家形石棺を間近で見ることができた。弘化谷古墳では整備された古墳に上り、石室の装飾などについて説明していただいた。

岩戸山歴史文化交流館いわいの郷では、展示室で石人・石馬などを見学した後、現地^{いわい}のボランティアの案内で、磐井の墓と考えられている岩戸山古墳、別区、岩戸山4号墳を見学した。岩戸山4号墳では石室の中に入る貴重な体験ができ、参加者に好評だった。



■第6回 自然史・歴史講座【現地学習】

タイトル：「アフガンに生きる先人の技術～江戸時代の水利技術を学ぶ～」

開催予定日：令和2年3月7日（土）

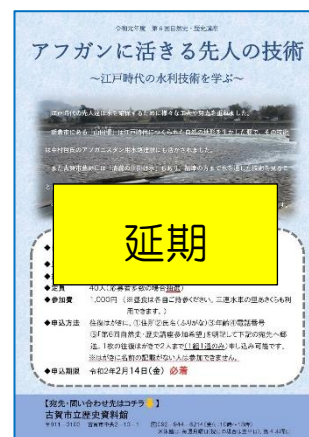
見学先：清瀧仕掛け水、山田井堰^{やまだいせき} 他

応募者数：72人（定員40人）

江戸時代の先人たちは水を確保するため様々な工夫をした。古賀市内にもそれが「清瀧の仕掛け水」として残り、現在も人々の生活を支えている。

朝倉市にある「山田井堰」は自然の地形をいかして作られた堰で、その技術は古賀西小学校出身の中村哲氏のアフガニスタン用水路建設に活かされた。

清瀧仕掛け水や山田井堰など水利に関する遺構を訪ね、昔の水利技術を学ぶ。



※この事業は「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため、令和2年度に延期した。

2. 展示

■ミニ企画展

タイトル：「神々の系譜～古賀の神社に祀られる^{まつ}産土の神々～」

会 期：令和元年7月20日（土）
～8月31日（土） 37日間

会 場：歴史資料館ギャラリー

観覧者数：1,382人

関連事業：第4回自然史・歴史講座【講演会】
「古賀の神々
～その歴史と伝承をめぐって～」

報道機関：J:COM（8月2日放送）



「令和」に改元され、太宰府の坂本八幡宮が注目を集めたことから、企画展では市内の鳥居のある神社を中心に、その所在・祭神、古事記を中心とした我が国の神々の系譜と信仰の変遷についてのパネル展示を行った。

展示ケースには、神社に奉納される絵馬の例として、谷山八幡宮『神馬図』、今在家若八幡宮『神功皇后図』を借用し展示した。さらに、五所八幡宮より棟札2枚（九州最古「明応3（1494）年」銘、立花道雪造営「天正11（1583）年」銘）と、神仏習合の一例として『大般若波羅密多經』も借用し展示した。

観覧者からは「市内にこんなに神社があるとは知らなかった」との感想が多く、郷土の歴史について新たな発見をしてもらうことができた。

また、企画展神社クイズ、古賀の神社めぐりすごろく、絵馬づくりコーナーなどを設置し、訪れた子ども達にも興味を持ってもらえるように工夫した。



■2019 年度国史跡船原古墳速報展

タイトル：「馬具のビフォー・アフター」

会 期：【前期】平成 31 年 4 月 26 日（金）
～令和元年 5 月 26 日（日）
【後期】令和元年 5 月 28 日（火）
～6 月 26 日（水）
53 日間

会 場：歴史資料館展示室

観覧者数：1,801 人

関連事業：第 1 回自然史・歴史講座【講演会】

「船原× I T～発掘現場を共有する時代～」

報道機関：西日本新聞（5 月 2 日掲載）

毎日新聞（5 月 11 日掲載）

日本経済新聞（6 月 24 日掲載）



平成 25 年度から行っている船原古墳の調査成果について、クリーニング作業を終えた実資料の展示や世界初の試みとも言われる調査手法「船原方式」の一端を紹介した。

今回は「馬具のビフォー・アフター」と題し、平成 29 年度、平成 30 年度にクリーニングを実施した出土品を中心に、土や錆などをクリーニングした後の実資料と、クリーニング前の土などがついた状態の写真を並べて展示した。さらに、これまで作成した復元模型や復元 C G 等をあわせて展示し、船原古墳調査の特徴であるデジタル技術を利用した調査方法について紹介した。復元 C G については、来館者が操作して様々な角度で出土品を見られるようにパソコンを設置した。

また、今回は会期を前期・後期に分け、一部の遺物を入れ替え展示した。結果、前期・後期 2 回とも来館した方が多数おり、船原古墳について学んでもらうことができた。



■船原古墳パネル展

タイトル：「船原古墳遺物埋納坑調査の最前線」

会 期：【歴史資料館】令和元年7月4日（木）～令和2年2月29日（土）

【市役所市民ホール】令和元年7月10日（水）～7月22日（月）

【アクロス福岡】令和元年9月23日（月）～9月29日（日）

船原古墳の周知活動の一環として、市内外あわせて3か所に船原古墳最新情報パネルを展示し、調査の成果を紹介した。

■出張歴史資料館

歴史資料館をもっと多くの人に知っていただくために、アウトリーチ活動として今年度はじめて市内イベントに参加し、主に「国史跡船原古墳」のPRを行った。

◆健康福祉まつり

実 施 日：令和元年10月6日（日）

会 場：サンコスモ古賀

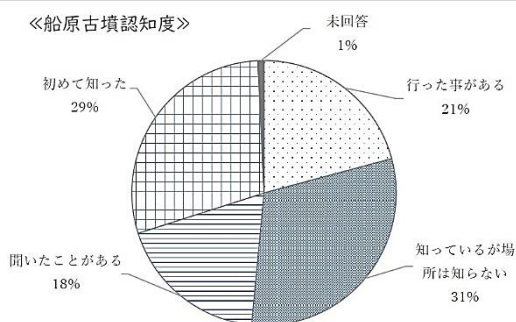
参加者数：アンケート 264人

古賀市健康福祉まつりに出展した。船原古墳の概要のパネルと、サンコスモ古賀で発
行中の「プレミアム商品券」に掲載された船原古墳1号土坑の出土品「金銅製歩揺付飾
金具」のレプリカを展示した。来場者はレプリカを見て、「このようなものが発掘され
ていたなんて知らなかった」と驚いていた。また、古代衣装で写真が撮れるフォトコー
ナーも設置し、小さな子どもを持つ保護者に好評だった。

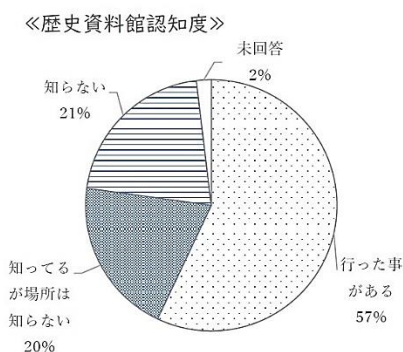
アンケートで船原古墳の認知度を調査した結果、「知っているが場所は知らない」「聞
いたことがある」「初めて知った」人が78%で、名前は知られているが、どんな古墳な
のかは、あまり知られていないことが分かった。また、歴史資料館を「知っているが場
所は知らない」「知らない」人が41%と、歴史資料館の認知度も低い結果となった。



Q 船原古墳を知っていますか？



Q 歴史資料館を知っていますか？



◆歴史資料館 in サンリブ古賀店

実施日：【パネル展示】令和元年10月25日（金）～11月10日（日）

【杏葉づくり体験】令和元年11月10日（日）

会場：サンリブ古賀店イベント会場

参加者数：【杏葉づくり体験】 11人

船原古墳の基本情報と船原古墳1号土坑から出土した「鳳凰文心葉形杏葉」「ガラス装飾付辻金具」「馬冑」「金銅製歩揺付飾金具（雲珠）」を紹介するパネルを展示した。あわせて、馬具を装着した馬の模型と船原古墳クイズ、船原古墳への案内を展示した。

観覧者に感想をきくと「古賀にこのように素晴らしいものがあるとは知らなかった」「もっと地元の事を勉強したいといけない」と、船原古墳に関心を持った様子だったが、船原古墳の認知度をもっと高めていく必要があると感じた。また、多くの方に船原古墳のパンフレットを手にしていただけた。

【杏葉づくり体験】

パネル展示最終日に、夏休み子ども歴史講座で実施した「杏葉づくり」を大人の方にも体験してもらおうと体験教室を実施した。見本で職員作成の金色に色塗りした杏葉を展示していると、これが欲しいと言われる方もいた。体験者は自分で作成した杏葉を喜んで持って帰っていた。



◆まつり古賀

実施日：令和元年11月17日（日）

会場：ニビシ醤油

参加者数：アンケート 233人

狩猟体験 109人

勾玉体験 13人



商工会主催のまつり古賀に出展した。船原古墳の概要のパネルと船原古墳の出土品のレプリカを展示した。また、歴史資料館をPRするため、古代衣装を着て写真が撮れるフォトコーナー、弓矢で狩猟体験、勾玉づくり体験のコーナーを設けた。特に狩猟体験は人気で、子どもや保護者に大好評だった。

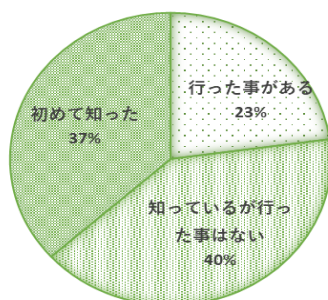


アンケートで船原古墳の認知度を調査した結果、「知っているが行った事はない」「初めて知った」人が77%で、まだ認知度は低いと感じた。また、歴史資料館に行ったことがない人や知らない人が半数以上おり、良いPRの機会となった。



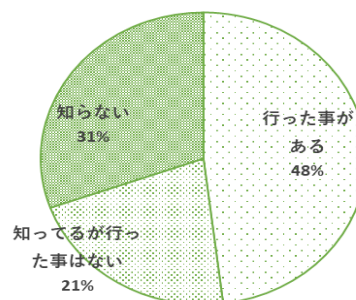
Q 船原古墳を知っていますか？

《 船原古墳認知度 》



Q 歴史資料館を知っていますか？

《 歴史資料館認知度 》



3. 教育普及

■歴史資料館れきし体験パスポート

春休み・夏休み・冬休みの長期休暇中、小中学生を対象に、歴史資料館展示室内でふくわらいやお手玉等の「昔のあそび」や展示をヒントに解く「資料館クイズ」などを体験して、パスポートにスタンプを押し、全部集めると職員手作りのプレゼントを渡すイベントを行った。このパスポートをとおして歴史資料館に親しんでもらい、郷土の歴史を楽しみながら学んでもらうこと、また子どもだけでなく保護者にも来館してもらうことを目的に開催している。

◆夏休みれきし体験パスポート

期 間：令和元年7月20日（土）～8月25日（日） 32日間

参加者数：のべ647人（パスポート数628枚）

夏休み期間中は、九州産業大学工学部と協力して、感情認識ロボット Pepper を設置し、参加者に郷土の歴史クイズや古賀の方言クイズを楽しんでもらった。

◆冬休みれきし体験パスポート

期 間：令和元年12月24日（火）～令和2年1月13日（月）11日間

参加者数：のべ76人（パスポート数76枚）

◆春休みれきし体験パスポート

予定期間：令和2年3月24日（火）～4月7日（火）

※この事業は「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため、中止とした。

■子ども考古学部（全4回） 部員17人（市内小学生）

毎回、前半は歴史資料館長による考古学の話、後半は体験活動の2本立てで行った。

◆第1回

タイトル：「考古学とはなんだろう？」

開 催 日：令和元年10月5日（土）

会 場：歴史資料館中会議室

参加者数：考古学部員16人、保護者7人、未就学児2人

第1回は「考古学入門」をテーマに実施した。考古学とはどんな学問なのかを説明し、石器、土器、石^{せきぞく}鏃、瓦、の本物を見たり触ったりして比べた。

活動は「疑似発掘体験」と「稲刈り体験」を行った。紙粘土で作った遺構（^{たてあな}竪穴住居の柱跡の再現）に遺物（鳳凰文心葉形杏葉の模型）を割り入れ、上から砂をかぶせて疑似発掘現場をつくり、様々な道具を使って発掘体験に取り組んだ。見つけた遺物の欠片はグループで考えながら接合してもらった。

また、歴史資料館で育てた赤米の穂を石包丁で刈る、稲刈り体験も行った。石包丁（模造品）の使い方を杉村館長から習いながら、一人一穂ずつ刈った。



◆第2回

タイトル：「縄文土器をつくろう」

講師：香川 ^{かがわ} 義文氏（古賀市陶芸同好会代表）

開催日：令和元年11月9日（土）

会場：交流館102工芸室

参加者数：考古学部員17人、保護者5人、未就学児1人、視察2人

土器や焼き物についての説明を聞いた後、古賀市陶芸同好会代表の香川義文氏に指導していただき、粘土を指で押して形をつくる「手づくね法」で縄文土器を作った。部員達は成形するのに苦労していたが、アドバイスを受けながら薄くなりすぎないように作っていた。ハートや星の形など複雑な形を作った子もいた。また、^{げんたい}原体（^{とが}先が尖った木の棒や竹など）を使ってそれぞれ文様を入れ、オリジナルの縄文土器をつくることのできた。作成した土器は素焼き、^{ゆうやく}釉薬がけ、本焼きをし、第4回で実際に使用した。



◆第3回

タイトル：「古賀の遺跡を探検しよう」

開催日：令和元年12月7日（土）

会場：歴史資料館中会議室→船原古墳

→馬渡・束ヶ浦遺跡（グリーンパーク）

→鹿部田渚遺跡（みあけ史跡公園）

参加者数：考古学部員15人、保護者7人、未就学児3人

市内の遺跡について、特に船原古墳、馬渡・束ヶ浦遺跡（現グリーンパーク）、鹿部田渚遺跡（現みあけ史跡公園）の3か所を紹介した。それぞれの時代や遺跡の特徴を説明し、船原古墳1号土坑から出土した馬具について、どんな風に使われていたのかを、馬具を装着した馬の模型を見せながら解説した。その後、バスで現地を見学した。



【船原古墳】

船原古墳、2号墳の形と大きさを確認した。草が刈られた後だったので、形がよく分かった。また、土坑の位置と大きさもあわせて確認し、出土した馬具について改めて紹介した。



【馬渡・束ヶ浦遺跡】

昔はみかん山だったことや青銅器がそろって出土したことなどを説明した。また、グリーンパーク内に残る未調査の古墳2基を紹介した。子ども達は普段遊んでいるところが遺跡だったことや古墳があることを初めて知り驚いていた。



【鹿部田渚遺跡】

鹿部田渚遺跡を見学し、ここから柱跡が見つかったことや、人が住むための建物ではないことを説明した。公園を見たことはあるという子は多かったが、立っている柱が何を再現したものなのかということを知っている子はほとんどいなかった。

◆第4回

タイトル：「古代食をつくろう」

開催日：令和2年1月18日（土）

会場：交流館101調理室

参加者数：考古学部員17人、保護者7人、未就学児2人、視察2人

縄文時代・弥生時代の人々の食事についての講義をして、縄文時代の人々が食べていたどんぐりについて、イチイガシ・マテバシイ・スダジイ・クヌギ・トチ・クリを人数分配り、どれが一番そのまま食べられそうかを予想してもらった。

古代食をつくる体験では、「どんぐりクッキー」「猪肉の古代風スープ」「赤米おにぎり」を作った。どんぐりクッキーは部員達に作ってもらい、古代風スープと赤米おにぎりは職員で準備した。各班の班長が材料を混ぜクッキーの生地を作り、それを各班に持ち帰って班員達が1人分をさらに5等分にして、均等な厚さになるように天板で押しつぶした。



また、どんぐりクッキーを焼く間に、「どんぐりのからむき体験」と「火おこし体験」を行った。どんぐりのからむきは、石器を使ってからを割り剥いた。力が強すぎると潰れて中の実がうまく取れないことを、部員達は体験する中で気づいていった。火おこし体験は、調理室テラスで火おこし器を使って行った。最初は上手くできない子が多かったが、コツをつかむと長い時間続けてできるようになった。

その後、作った古代食を実食した。猪肉の古代風スープは第2回で作成した自分の土器によそって食べ、ほとんどの子がおかわりし好評であった。

修了式では感想を希望者に発表してもらい、活動を通して歴史に興味を持ったことや、歴史資料館に親しみを持ったことが分かった。最後に部員全員で記念撮影を行った。



■ナイトミュージアム&ライブラリー

開催日：令和2年2月1日（土）

会場：図書館、歴史資料館、
中会議室、ギャラリー

参加者数：50人（市内の小学生）

報道機関：J:COM（2月6日放送）



キャラクター
「フナバール王子」

50人の子ども達、5人1グループになって、歴史好きのイタズラおばけに乗っ取られてしまった夜の図書館と歴史資料館から脱出するというゲームに参加した。真っ暗な館内を、懐中電灯の明かりで進みながらグループのみんなで協力し、おばけが出す様々なミッションに挑戦した。

【歴史資料館ミッション】

館内の展示をヒントに解くクイズ、館内のどこかに隠しているものを探すミッション、かざぐるま探しなどを行った。子どもたちははやくクリアしようと、協力しながら取り組んでいた。展示に関するクイズは、普段歴史資料館に来ている子はすぐに分かっていた。

【図書館ミッション】

カードで指定された4冊の絵本を探し出し、絵本の頭文字から暗号を読み解くミッションを行った。ミッションの答えの「ふなばる」がすぐに分かったチームもあれば、なかなか正解にたどり着かないチームもあった。

【最終ミッション】

それぞれのミッションをクリアし手に入れた馬具カードを、馬の絵の正しい位置に貼るというミッションを行った。

見事全てのミッションをクリアし、全員脱出することができた。クリアした子どもたちはキャラクターと一緒に、おばけから館を守ったという達成感にあふれた様子だった。帰り際にはおみやげをもらいフォトコーナーで記念撮影をして、満足気に帰っていた。



■施設見学

歴史資料館では子どもたちの教育普及や一般向けの生涯学習の一環として、事前申込で施設見学を受け入れている。館内は市内から発掘された出土品の展示や郷土の歴史の紹介、小学校3年生の学習内容「古い道具と昔の暮らし」で参考になる古民具等を配置し、分かりやすい解説と展示を心がけて特に子どもたちの学びに力を入れている。

【公共施設の使い方】

歴史資料館についての利用方法だけでなく、公共施設の利用方法や公共マナーも教えている。

〈資料館利用マナー〉

- ① 走らない
- ② 中で食べたり飲んだりしない
- ③ 大声でさわがない
- ④ さわってよいもの以外の展示物にはさわらない
- ⑤ ごみを落とさない



古賀中学校1年生
「リーパスワーク」



小学校 施設見学

【社会科「古い道具と昔の暮らし」】

学校と学習のねらいや内容、スケジュール等を事前打ち合わせして、見学を進めている。

大人数の場合は3グループ程度に分け、映像での説明と展示室の見学を入替ながら、全員に説明が行き届くように心がけている。

机上で学ぶより、歴史資料館で実物を見ながら先生でなく資料館職員から説明を受けることで、日頃とは違う学びが提供できている。また、通常は触ることができない資料を特別に触ることができるような取り組みも行っている。

この事業がきっかけで再度来館する子どもや、家族友人を連れて子ども自ら学習したことを説明している光景もみられ、郷土の歴史の普及に繋がっている。



小学校3年生
社会科「古い道具と昔の暮らし」

■実習生受入

◆福岡工業大学附属城東高等学校「インターンシップ」

期間：令和元年7月23日（火）～25日（木）3日間

受け入れ人数：2人（2年生）

職場体験の機会を提供するためインターンシップを受け入れ、歴史資料館業務の補助を体験した。



歴史資料館見学



子ども歴史講座の補助



拓本体験

◆九州産業大学「博物館学芸員課程館務実習生受入れ」

期間：令和元年8月23日（金）～9月3日（火）のうち10日間

受け入れ人数：1人

博物館学芸員資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、要望があった学生を受け入れ、博物館実習を行った。



キャプション作成



発掘体験



拓本体験

◆古賀中学校「ドリームステージ」

期間：令和元年9月12日（木）・13日（金）2日間 受け入れ人数：3人（2年生）

古賀市教育委員会の事業で、働く人々や自分自身の仕事に接し、働くことの意義を感じ、自分が役に立つ存在であることを実感し経験してもらうため、学生を受け入れ歴史資料館事務の補助と市内の歴史を学んだ。



古代米の世話



遺跡見学



歴史パズル製作

Ⅲ 来館者数

平成31年度（令和元年度）開館日数及び来館者数

月	開館日数	来館者数
4月	23日	549人
5月	26日	752人
6月	25日	1,005人
7月	25日	1,000人
8月	27日	987人
9月	24日	723人
10月	26日	541人
11月	25日	861人
12月	23日	528人
1月	21日	510人
2月	24日	623人
3月	6日	61人
合計	275日	8,140人
月平均	23日	678人
日平均		30人

【過去3年間の日平均来館者数】

年 度	日平均来館者数
平成28年度	43人
平成29年度	34人
平成30年度	35人

IV 令和2年度目標及び事業計画

■目標

※コロナウイルス感染拡大防止により目標変更となる場合があります。

- (1) 郷土古賀の歴史を学習する「自然史・歴史講座」を開催し、講演会、施設見学、体験学習及び史跡等に出向いての現地学習などを行い、参加者の自然史・歴史、郷土の偉人への興味を高めるとともに、古賀のよさを知ってもらう機会とする。
- (2) 小学生を対象に「子ども考古学部」を実施し、古代の体験や専門の職員の話を通じて、大昔の人々の生活を学習する場を提供する。
- (3) 船原古墳に特化した人材を育成する目的で、初心者向けの船原古墳講座を開講する。
- (4) 国史跡船原古墳に関しては、古賀市ホームページやフェイスブック、最新情報のパネル展などを実施し、市内外への情報発信に努める。
- (5) 戦後75年の節目として、戦場に送り出した側の古賀の人々の暮らしに焦点を当てた企画展や講座を開催し、当時の日常を知ってもらい考える機会をつくる。
- (6) 市内で開催されるイベントに「出張歴史資料館」を出展し、分かりやすく郷土の歴史を発信する。
- (7) 郷土の戦国武将である薦野増時、米多比鎮久、また立花宗茂・間千代等、古賀に縁のある人物を紹介することで、郷土愛の醸成を図る。
- (8) 古文書、民具、昔の写真など郷土に関わる資料の収集を行うとともに、地域の高齢者から昔の生活の様子などの聞き取りを行い、それらの整理・保存に努める。
- (9) れきしのアルバム No.44「薦野氏・米多比氏」のデータを作成しホームページに掲載する。

■事業計画

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更・中止となる場合があります。

《自然史歴史講座・企画展・展示・講座》

事業名・講師等	開催予定日	内 容	開催予定場所
自然史・歴史講座【体験学習】 「子ども歴史講座 2020」	7月24日(金) 7月25日(土)	杏葉づくり 勾玉づくり	歴史資料館 中会議室
自然史・歴史講座【講演】 「立花氏・薦野氏・米多比氏」	未定	講師：中野等氏 (九州大学大学院教授) 立花宗茂と薦野氏・米多比氏	交流館 多目的ホール
自然史・歴史講座【講演】 「戦争は社会をどう変えたか？～戦争と市民社会～」(仮)	10月10日(土) 14:00～16:00	講師：有馬学氏 (福岡市博物館長) 戦争と市民社会について	交流館 多目的ホール
自然史・歴史講座【現地学習】 「アフガンに生きる先人の技術」	①9月下旬 ②10月上旬	令和元年度延期分 清瀧、山田井堰 ほか	朝倉市 ほか
企画展 「戦争とくらし」	10月1日(木)～ 11月8日(日)	戦後75年、戦争についての パネルと実資料展示	歴史資料館 ギャラリー
船原古墳最新情報 「令和2年度速報展」	未定	平成31年度までの出土品整理・調査についての解説と実資料を展示	資料館展示室
船原古墳パネル展	8月1日(土)～ 8月23日(日)	初心者向けの船原古墳のパネル展示	歴史資料館 ギャラリー
	未定	船原古墳PRのパネル展示	資料館展示室 市役所市民ホール
子ども考古学講座	10月上旬	古代の織物	歴史資料館 中会議室
	11月上旬	縄文土器づくり	交流館 工芸室
自然史・歴史講座【現地学習】 「戦争遺跡を訪ねる」(仮)	3月上旬	竪坑櫓、大刀洗平和記念館、 大刀洗飛行場跡 ほか	志免町、大刀洗町 ほか
春休みれきし体験パスポート	3月～4月	郷土の歴史を学ぶ	資料館展示室

平成 31 年度（令和元年度）歴史資料館年間報告書

2020（令和 2）年 7 月発行
〒811-3103 福岡県古賀市中央二丁目 13 番 1 号

古賀市立歴史資料館

TEL : 092 (944) 6214
FAX : 092 (944) 6215